



種だけでなく、日本全体がそうでしたが、特に海外取引のあった自社では、元になる自動車会社が相次いで減産体制に入ったことから、その影響は並々ならぬものがありましたね。現在は回復基調にあり、自動車産業が海外に相次いで新会社を建設しているため、仕事も増えてきています。

高鳥毛 その製品はどのように作られますか。

塩本 昔と違って、本当に便利な時代となりました。事務所にあるパソコンにデータを入力するだけで製品ができます。例えばメーカーに立体的な図形を提案されたとしても、そのような図形であったとしても、立体物を一つ一つ部品に分解していくソフトを使えば、あつという間に必要な部品の形が出来上がってしまいます。一昔前なら、頭の中に立体画像を描き、どう

いう形になるのか想像しながら形を組み立てたものですが、ここ10年ほどで驚くほど進化しました。

高鳥毛 パソコン技術の変化は目覚ましいものがありますからね。

塩本 真似ることが出来る人であれば、パソコン表示された映像通りに行くことで、ズブの素人でも部品製造の組み立てをすることが出来る時代です。このことから、うちでは大量生産するものではなく、誰でも出来ないような多品種少量生産のものに目を向けました。その代り、仕事がないと収入がなくなるといふリスクもあります。

高鳥毛 それでは、塩本さんのところでは一体どのようなもの作れるんですか。

塩本 板金で作るものなら何でもできますよ。鉄板をレーザーで切断しますが、鉄板の厚みが12mmのものでも0.1mmで切断できますし、それを曲げて溶接加工もできる機械が整備されています。いろいろな出来るからまた面白いんです。

高鳥毛 仕事が好きなんですかね。

塩本 会社の経営理念とか目標とか言われますが、特別なないです。目標などは悪化した時のモチベーションの低下を思うと、それほど重要だとは考えていま

せん。それよりは自分のやっている仕事が好きか嫌いかではないでしょうか。楽しいと思えば、当然嫌なことや辛いことがあっても我慢できると思いますね。私の場合、好きなことがこの仕事なのでやっても楽しいんです。楽しいから身体も元気です。うちに来る従業員も初め体調不良を起こしているような人でも、いつの間にか不思議なことに元気になります。また、嫌々するような人は長く続きませんし、必要ともしません。

高鳥毛 私もよく言われます。

「好きなことを仕事に出来て良かったわね」と。しかし、好きだからと言って、それが収入に結び付くかと言えはそうではなく、そんなに甘くはないので難しいですね。仕事以外で趣味はありますか。

塩本 釣りをします。能登の方まで行って楽しんでますよ。この付近でもできますが、キスぐらいしか釣れないので、遠くまで出かけます。

高鳥毛 それは楽しみあつて良いですね。本日は大変お忙しい中、貴重なお話を誠にありがとうございました。後、益々のご発展とご活躍をお祈りいたします。

観光振興委員会 視察研修報告

2月16・17日にかけて、静岡県伊豆半島の「日本一早い桜」河津桜まつりを見てまいりました。

ここは、2月5日～3月10日までの34日間で150～200万人の観光客を集める日本有数の桜の名所であり、地域を流れる河津川に沿って桜が植えられています。この河津の凄さは、その桜並木に桜木の数ほどの露天商が平行してお店を出し、一か月に及ぶ桜まつりが露天商、駐車料金などで河津地区に大きな経済効果を生み出しているところでもあります。桜は、ぱっと咲き、ぱっと散るのが普通ですが、その桜を長い年月をかけ、地域経済の資源として住民が育ててきたことに大きな意義を感じました。私たちが訪れたときは、残念ながら1～2分咲きでありましたが、各地から沢山の観光バスが来ており、満開になる3月初めには、桜並木が観光客に埋め尽くされ、身動きのできない状況になるそうです。他に、静岡B級グルメ（浜松餃子、清水もつカレー、富士宮やきそば）を味わい、道の駅などを回り、地域観光について学んで参りました。



繊維部会 活性化ファンド事業 大阪視察研修

2月26日12名で大阪視察研修を実施いたしました。繊維部会ではかほく市の地域産業資源である組紐やゴム入細幅織物等の繊維製品を非衣料分野で活用できないかと思いつき、昨年6月に石川県産業創出支援機構が募集するいかかわ産業化資源活用推進ファンド事業（通称：活性化ファンド）に主として医療や介護等の非衣料分野での用途開発研究を目的とした事業計画を申請したところ、昨年9月助成金事業として採択されました。今回、同事業の一環として大阪産業創造館で実施された“ヘルスケアビジネスフェア2013”視察と医療・介護等製品を製造販売している大衛(株)訪問を行いました。ヘルスケアビジネスフェア2013では各地の企業が開発した健康関連商品の展示や大学の研究成果など発表を視察しました。また大衛(株)では同社取締役など企画開発本部の方々とお会いし、かほく市の繊維製品を紹介する際、同社が製品開発する際、どのような繊維資材を必要とするかなど貴重な意見をお聴きすることができました。当初の予定時間を超え、熱の入った意見交換から今後の参考となる情報を得ることができました。

